	7	平成29年度 鐦	ケ谷市事務事	業	评価表	(事後)	(標準	評価表	<u>:</u>)						
車系	事務事業名市庁舎免震								会計	款	項	目	多額 経費		
す 4:	力学 未石	印月音光辰以修事未						一般	2	2 1	7	0			
	政策	:に暮らせる社会	€シ	ステム	をつくり	ります		担当課室	契	約管.	財課	1			
	施策		233防災対	策	の強化	ı			担当課室長	弓	削者	学司			
	· 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t=&	の方気	〔	1								
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	ともに、完成ついて、最適	ニ向け関係部署 後の免震装置の にな方法を検討す	D維持管理に ける。		③平成度に取改革・i	組む	者の多	全に関	`スの低 記慮した						
基づく 取組み 結果	管理についる	:の調整及び免別 て、最適な方法で		内容のは、一成させる。				0 0							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要					ı								
①目的	対象	市庁舎(建物)		図(対象 るのか)	をどう			人、防災 うる施設			点と	して		
②事務事	事業の概要	市庁舎の免別	震改修工事を行	う。											
からの状況 見込み・市	♪析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	安心、快適に利	の市民が利用が用できる必要が			ぎあるこ	とから	、適正	な管理	!を1	行い、	安全	<u>-</u>		
Ⅲ事務	事業の成果な	ウコストの状況	W			L A =4	/m /- 4= -		> -1 14						
①平成2 業の成身	8年度の事 限		正進め、来庁者ない、免震本体エデ □期を延伸した	事じ											
②成果		指標名称			平成26	平成27	平成26 平成27 平成28 単化 年度 年度 年度			<i>}</i>	ф н-	L bп			
を表す	i	改修割合			年度		年度	—		昇	定根	יאנו			
指標		改化	修割合		<u>年度</u> 0		年度 92		業務耳			ייי			
コロリホ	ii	改任	多割合			年度			業務耳			120			
	ii iii	平成27年度決算		平	0	年度 38	92	%		仅 得	Ŧ		予算		
③事務事 事業費(=	ii iii 業のコスト 千円)		平成28年度決算	_	成28年)	年度 38 支決算 -円)	92	% ()の主 内容		仅 得	Ŧ	丰度·	予算 5,546		
③事務事 事業費(- 国支)	ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	平成27年度決算	平成28年度決算	_	成28年 金額(千 1,6	年度 38 変決算 -円) 28,928	92 (事業費工事関	%)の主 内容 【係費		仅 得	Ŧ	丰度·			
③事務 事業費(- 国支出 県支出	ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	平成27年度決算 806,149	<mark>平成28年度決算</mark> 1,649,756	Viri	成28年 金額(千 1,6	年度 38 変決算 -円) 28,928	92	%)の主 内容 【係費		仅 得	Ŧ	丰度 ⁻ 745			
③事務事事業費(- 国支上 県支上 市債ぞ	ii iii iii 手業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 才源(千円)	平成27年度決算	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900	VITI	成28年 金額(千 1,6	年度 38 変決算 -円) 28,928	92 (事業費工事関	%)の主 内容 【係費		仅 得	Ŧ	丰度: 745	5,546		
③事務事事業費(- 国支出 県支出 市債者	ii iii iii 手業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 才源(千円)	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856	Ver	成28年 金額(干 1,6	生度 38 支決算 -円) 28,928 19,848	92 (事業費 工事関 調査記	% 内容 係費 計費	な内訳	平,	成294	丰度 · 745 722 22	2,900 2,646		
③事務事事業費(- 国支上 県支上 市債ぞ	ii iii iii 手業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 才源(千円)	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449 工事の完成にある。	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856 に向け、市民サー		成28年 金額(干 1,6	年度 38 き決算 -円) 28,928 19,848	92 (事業費 工事関 調査部	% 内容 係費 計費	な内訳	平,	成294	丰度 · 745 722 22	2,900 2,646		
③事務事 事業費(- 国支上 市債で 一般則 IV 評価	ii iii iii 手業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 才源(千円)	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449 工事の完成に	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856 に向け、市民サー	—E	成28年 金額(干 1,6	年度 38 変決算 -円) 28,928 19,848	92 (事業費 工事関 調査記	% 内容 係費 計費	な内訳	平	成294	F度 745 722 22 必要	2,900 2,646 か [*]		
3事務事事業費(- 国支上 県支上 市債額 一般則 1V 評価 1課題	ii iii iii 手業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 才源(千円)	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449 工事の完成にある。 i 市関与の妥当性 ii 有効性	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856 こ向け、市民サー	iii iv	成28年 金額(干 1,6 ごスの但 公平性 効率性	年度 38 <u>ま決算</u> (一円) 28,928 19,848	92 (事業費 工事関 調査部 方止や5	% 内容 係費 計費	な内訳	平	成294	F度 745 722 22 必要	2,900 2,646 か [*]		
3事務事事業費(- 国支上 県支上 市債額 一般則 1)課題 ②評価 3)上記記	ii iii iii iii iii iii iii iii iiii i	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449 工事の完成にある。 i 市関与の妥当性 ii 有効性 工事が適正に	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856 こ向け、市民サー 3高い 3高い 3高い に進捗しているが	iii iv か確	成28年 金額(干 1,6 公平性 強認する 達成状	年度 38 <u>き決算</u> -円) 28,928 19,848	92 (事業費 工事関 調査部 3高い 3高い	% 内容 所係費 計費 安全の	な内訳 確保に V総合	平	成29 ⁴ める。 6精	722 22 22 必要	2,900 2,646 か [*]		
③事務事 事業費(- 県支上 市債領 一般則 ①課題 ②評価 ③上記記 V多額	ii iii iii iii iii iii iii iii iiii i	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449 工事の完成にある。 i 市関与の妥当性 ii 有効性 工事が適正に る事業等の「実	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856 こ向け、市民サー 3高い 3高い 3高い に進捗しているが	iii iv か確	成28年 成28年 金額(干 1,6 1,6 ごスの但 公郊率性 選認する 達成状 平内	度 (表別では、 (表)では、 (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (表)で (92 (事業費 工事な 3高い 3高い	% 内容 大学 アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	な内訳 確保に V総合	文 平 - - - - - - - - - - - - -	成29 ⁴ める。 6精 ;千円	722 22 22 必要	2,900 2,646 か [*]		
③事務事 事業費(- 国支上 市債別 IV 評価 ①課題 ②評価 ③上記記 V 多額 ①平成2	ii iii iii iii iii iii iii iiii iiiiiii	平成27年度決算 806,149 778,700 27,449 工事の完成にある。 i 市関与の妥当性 ii 有効性 工事が適正に	平成28年度決算 1,649,756 1,602,900 46,856 こ向け、市民サー 3高い 3高い こ進捗しているが を実施する(平	iii iv か確 to	成28年 金額(干 1,6 公平性 強認する 達成状	年度 38 き決算 円) 28,928 19,848 た下の原 元とか。	92 (事業費 工事関 調査部 3高い 3高い	% 内容 孫 計費 安全の 1,490,000	な内訳 確保に ・ ×総合	平 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学	成29 ⁴ める。 6精	722 22 22 必要	2,900 2,646 か [*]		

	2	² 成29年度	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表	<u> </u>					
事務	女修	等事業	会計一般	款 2	項 1	月 7	多額 経費 ○							
	 政策	23安全	: :に暮らせる社会	<u></u>	ステム	をつく	ノます		担当課室	契約	管見	 け課		
	———— 施策			策	の強化				担当課室長	弓削				
I 改革	.•改善内容(=	=事務事業をよ												
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	の評価平成28年度からの新規事業のため、前回で掲げの評価で掲げた内容なし。た内容				③平成 度に取 改革・	方民に	こおける騒音や振動など に支障とならないよう、関 の綿密な調整を図りなが							
基づく 取組み 結果	組み結果なし			内容	ら、工事を進									
Ⅱ事務	事業の目的・	概要					1							
①目的	対象	市庁舎建物及	及び敷地内		図(対象 るのか)	をどう	執務 強化す	スペース る。	スの改善	手及 び	防災	泛対5	策を 	
②事務事	事業の概要	市庁舎建物及	及び敷地内にお	しい	て、施討	役の改作	修や整	備を行	う。					
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 市庁舎は多くの市民が利用 心、快適に利用できる必要が					用する施設であることから、工事中においても安全・安 が ある。								
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況												
①平成2 業の成界	8年度の事 艮	関係部署と調	整を図り、工事	発	注のた	めの影	計書を	完成。	させた。					
②成果		指标	票名称	平成26 平成27 平成28 単位 年度 年度 年度						算定根拠				
を表す	i ii	改修割合					5	%	業務耳	仅得				
指標	iii													
	業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の										
事業費(-		0 0			金額(千円) 内 4,922 調査設計			内容				85	,495	
	出金(千円) 出金(千円)					4,922	調宜 記	又訂貨						
	での他(千円)											64	,100	
	才源(千円)											21	,395	
Ⅳ 評価	ⅰ検討													
①課題		施設の利用目	目的・ニーズに合						要があ	る。				
②評価	②評価 i 市関与の妥当性 3高い ii 有効性 3高い			iii 公平性 3高い 2普通 3高い 36い 36い				v 総合	評価	6精	査∙≉	検証		
③上記評	呼価の理由	関係部署と調	 整を図った結り	果と	エ事の	成果を	検証す	するため	か 。					
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実		ける					L 1 = 7 33					
①平成2	8年度の計画	改修工事又はる設計業務を実		計画	平, 画事業費	成28年	度事業 予算額		犬況(隼		千円 算額			
	対する事業実績	改修工事又はる設計業務を実	整備工事に係 実施した		10 500	10 500	当初 H27⇒28繰越	10,500 0		H277	から		0	
③達成物		完	7	10,500 10		10,000	補正	0		現年	₣分		4,922	
	・非着手の理由		流用·充当 0 では 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7											

	<u>,</u>	P灰29年度 鎖	で谷市事務事	耒 評	·恤衣	(争後)	(標準)	評価表)				4 17
	务事業名	防火対策に安りる経貨							会計一般	2	1	日 11	多額 経費
	政策	23安全	に暮らせる社会				担当課室	安全					
	施策		233防災対						担当課室長	小松	崎	佳之	<u> </u>
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための	の方気	耟)							
①前回 の評価 で掲げ た内容	水槽の施設修 防災資器材整	ちづくりのため井 繕、快適な避難F 備、防災関係機I 防災訓練の充実	厚	度に取		快適な	避難凡	性貯水槽の施設修 所生活のための防 5災関係機関との				資	
②①に 基づく 取組み 結果	検、防災備蓄 医薬品の購入	貯水槽の施設修繕及び保守点 用品の購入、災害用救急箱詰替 、総合防災訓練を実施した。				のたぬ							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象	市民			(対象 のか)	をどう	防災意 発生時(
②事務事	事業の概要	災害から市民(災体制の強化)	の生命・身体及で を図る。	び財	産を守	守り、災	害に強	いまち	づくり	を基ス	本とし	して [防
からの状況見込み・市	予析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	の危険性が高	台風被害の大規 くなっている。	見模(比また	:、宅地	化によ	る保水	力の低	等不是	等災 等	害発	生
■ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成界	8年度の事 果	なった。市民の	5災体制が充実 防災意識が高 合い、災害の被	まり、	自助	、共助	の精神	から地					
②成果	_	指標名称			平成26 平成27 平成: 年度 年度 年度			単位				処	
を表す	İ	総合防災訓練参加者数			1,196 1,089			人	業務取得				
指標	ii	自主防災組織率			56	56	55	%	業務耳	又待			
O 1 =1	iii						/						
	事業のコスト		平成28年度決算				(事業費		な内訳	平成	29年		
事業費(=		24,904	24,904 16,207			円)		内容				15,	,225
国支出	出金(千円)				5,016 委託費(防約				服委託等)				
県支出	出金(千円)					7,286	需用費	t					
市債を	その他(千円)												
一般則	才源(千円)	24,904	16,207									15,	,225
Ⅳ 評価	i•検討												
①課題		備が必要である	- •	が求	められ	れており	り、ハー	-ド面に	おいて	も計	画的	りな割	文
②評価		i 市関与の妥当性 3高い ii 有効性 3高い		iii 公平性 iv 効率性			3高い 3高い		v 総合評価		6精	査・柞	食証
③上記記	平価の理由	鎌ケ谷市地域 いるため。	防災計画に基づ	ゔき、	計画的	的に防	災体制	を強化	するこ	とがこ	求め	られ	て
V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況													
V 多額	即在其で安 9								の状況(単位:千円)				
		0	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		平	成28年	度事業	費の物	<u> </u>				
	8年度の計画		() O I O I	計画等	平月事業費		予算額		 : 況(単	決	算額		
①平成2 ②計画に	8年度の計画対する事業実績	W 7 7 7	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	計画等			予算額 当初 ^{H27⇒28繰越}				算額から		
①平成2	8年度の計画対する事業実績			計画			予算額 当初		t況(単 0	決 1	算額から越		

車業部体主/車後//海淮部体主/

	_3	P成29年度 弱	アイローを	耒評個表	(争伐)	(標準	評個衣	:)				
事務	务事業名	防災行政無線管理運営に要する経費							款 2	項 1	目 多額 経費	
	 政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります								 ≥対第	 き 課	
	 施策		233防災対	黄の強化	<u> </u>			担当課室長	小杉	公崎	佳之	
1 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く宝施する	ための方	第)							
1前回		切な管理運営の抗		,_	/	防災行	政無線	等の情	報行	達毛	段につ	
の評価で掲げた内容	う。聞こえづらい どによる改善を	・地域へはスピーカ 行うとともに、そのな サービス・安心eメー	一の向き変更な 補完措置として、	度に国	成29年 阪組む	いて、 に備え た、市」	ハつ発生 て、適 民から、	Eするか Eに維持 放送が	いわか 持管理 聞き	らな 記して 取りつ	い災害	
②①に 基づく 取組み 結果		と1月に計画的に が化した機器につ	改革· 内容	以 普	業者と協議しスピーカーの向変更を行い、改善を図り、適 運営のため保守点検を行いる。					句きなどの 動切な管理		
Ⅱ事務	事業の目的・	概要		<u>-</u>								
①目的	対象	市民、防災関係	系機関	意図(対象するのか)			防災関 伝達等					
②事務事	事業の概要		は、災害時にお をするものである		<u></u> 伝達手	 段であ	り、適t	_ <u>_</u> 刃に運	 用で	 きる。	 よう平	
からの状況	↑析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)	住宅の高層化や部屋の高気密化などにより、放送が聞き取りづらいなど住民から の問い合わせがある。										
		やコストの状況										
<u> 平符</u>	ず木の水木で		巛仕生は去中	⋘中 ∞ ⊔	吐か中	ムエモ!	±± 15 m .	ロリーベー	ملاط	7 6 7	1-+-	
①平成2 業の成界	8年度の事 限	地域における防た。市が防災行 た。市が防災行 行政無線を災害		営を行うこ	とで、防	災体制	の強化	につなれ				
②成果		指标	平成26 平成27 平成28 単位 年度 年度 年度			単位	算定根拠					
を表す	i	防災行政無線	料 3,331	3,331	3,331	千円	業務耳	又得				
指標	ii											
	iii											
③事務事	事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年	度決算	(事業費	(1)の主	な内訳	平成	29年	度予算	
事業費(-		18,749	11,484	金額(-	千円)		内容	-			11,091	
	出金(千円)	=,: 30	-,			防災行		泉保				
	出金(千円)					MCA無						
	その他(千円)				•							
	才源(千円)	18,749	11,484								11,091	
IV 評価			,									
①課題	INHO	住宅の高層化や部屋の高気密化などにより、放送が聞き取りづらいなど住民から の問い合わせがあるため、音量やスピーカーの向きなどの調整が必要である。										
②評価		i 市関与の妥当性 3高い ii 有効性 3高い					(章) (評価 6精査・検討		
③上記評	平価の理由	災害時の情報せない。				5公共[団体の	果たす	役割	الحال	て欠か	
Ⅴ 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画 におい	ける達成キ	犬況							
		2 , 712 .1 44 .7			成28年	度事業	費の物	犬況(単	位:	千円)	
① 半成2	8年度の計画			計画事業費		予算額				 算額		
	対する事業実績				0	当初 H27⇒28繰越		0	H27:	から		
③達成物	大況				I	補正		I	現年	F厶		
④未完了·	・非着手の理由			平成29年度へ	の繰越額(単	流用·充当 位;千円)			- 54	一刀		

	<u> </u>	<u> </u>	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	評価表)		
事系	务事業名			資機材整備事業				会計一般	款 項 2	1 11 〇
	政策	23安全		社会システムをつくります 担当課室 安全対策						
	施策		11.00	対策の強化				担当課室長	小松峪	· 佳之
	• 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための万分	表)	1				
の評価 で掲げた内容	で掲げの評価で掲げた内容なし。			③平 _反 度に取	奴組む	資器材	を未る	を付の	夏な防災 災組織及 寸すること	
②①に 基づく 取組み 結果	平成28年度7 組み結果なし	からの新規事業 へ。	のため、取り	改革·改善 内容					拡充して	
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要				•				
①目的	対象		意図(対象 するのか)	をどう		安全性を			ことにより 防災意識	
②事務事	事業の概要	鎌ケ谷市自主防災メット・メガホン・ロ・ 材)を交付する事業	ープ・誘導旗・腕章							
からの状況	分析 (事業開始 記変化や今後の ĭ民意向など)	災害時における自 担っており、資器								
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況								
①平成2 業の成5	8年度の事 関	自主防災会16	6団体に対し、資	登器材の 交	付を行	iった。				
@ * #		指标	票名称			平成28	単位		算定根	视
②成果を表す	i	自主防災組織	年度	年度	<u>年度</u> 2,545	千四	業務取	10.0		
を表り 指標	ii	資機材交	•			団体	業務取			
10.12	iii									
③事務事	事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年	度決算	(事業費	()の主	な内訳	平成29	年度予算
事業費(-		0	2,545	金額(刊			内容			9,425
	出金(千円)				2,545	消耗品	費			
	出金(千円)									
	その他(千円)		0.545							0.405
Ⅳ 評価	<u>才源(千円)</u> : - t 会 = +		2,545							9,425
①課題	1-1失計	自主防災組織によ 態が長期化すれば								のような事
2評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性	3高い 3高い v 総合			7拡充		
③上記記	平価の理由	自主防災組織が防成し、防災意識の			災資器	すを交付	すること	により、	自主防災	組織を育
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におり	ける達成状	況					
①亚成2	8年度の計画	自主防災組織	16団体への		成28年			犬況(単	位;千	
①十 <i>以</i> 2	○十及の計画	資器材の交付		計画事業費		予算額			決算	
	対する事業実績	自主防災組織 資器材の交付		3,000	3,000	当初 H27⇒28繰越	3,000	2,545	H27から の繰越	
③達成1		完	ſ	3,000	3,000	補正 ^{流用·充当}		_,0 10	現年分	2,545
4)未完了	・非着手の理由	平成29年度への繰越額(単位:千円)								